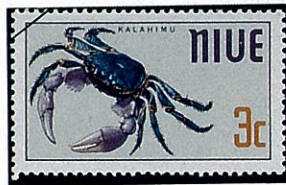


カクレイワガニ

分類：十脚目 爬行亜目 短尾区 イワガニ科 (甲殻綱)
 学名：*Geograpsus grayi*
 英名：

八丈島、土佐海湾、鹿児島、沖縄、東南アジア、オーストラリア及びポリネシアに至る熱帯太平洋海域及び紅海、アフリカ東岸に至る熱帯印度洋海域の防波堤や海辺の草地及び木の根元などに穴を作って生活する。体色は美しく紫色、又は青紫色で甲は横に広く円みを帯びているが前縁は円く張り出している。鉗脚の長節は板状に前方に広がりその前縁には鋭い鋸歯が7~9ヶ刻まれて顕著なる特色となっている。歩脚の長節は比較的幅が広く横縞が見られ、前節及び指節が細く鋭く小棘蘇生している。甲長28mm、甲幅34mm内外。



カクレイワガニ



カクレイワガニ



トゲアシガニ *Percnon planissimum*



イワガニの一種 *Pachygrapsus sp*



イワガニの一種 *Pachygrapsus marmoratus*



イワガニの一種



オオイワガニの一種 *Grapsus sp*



ヤシガニ

分類：十脚目 異尾類 オカヤドカリ科 (甲殻綱)
 学名：*Birgus latro*
 英名：Coconut crab, Robber crab

沖縄諸島以南の熱帯域に分布し、ココヤシやタコノキの繁茂した岩穴や木の根元に棲み、椰子の木に上る習性の為この名がある。夜間索餌活動を行い、コプラ、タコノキの実その他果実、木の髓などを食べる。幼生のゾエアは海中に放出され遊泳生活をおくる。甲長12cm、甲幅14cm、体重1.3kg位に達する。甲は心臓形、第1脚は太く短く大きな鋏をもち、常に左側が大きい。第2、3脚が歩脚で、第4、5脚は短く先端には小さな鋏があり、第5脚は鰓室内にかくれる。鰓室膜で呼吸をする。腹部は脂肪に富み、焼いて食べれば可成り美味であるといわれる。

